

## 令和5年度 鶏鳳北同窓会特別基金管理委員会 記録

1. 日 時 令和5年11月22日（水） 9時30分～10時15分
2. 場 所 兵庫県立龍野北高等学校 2階会議室
3. 出席者 堀千代幸会長、出口くみこ代表副会長、菅井稔副会長、大坪三郎副会長、木元文三副会長、久保ひとみ副会長、原田富子事務局員  
(オブザーバー参加) 大谷充廣副会長、戌亥しのぶ監事
4. 配布資料 ①今後の鶏鳳北同窓会活動について（資料）  
(事前送付分含) ②特別基金管理規定改正（案）  
③鶏鳳北同窓会館建設について（資料）

### (1) 開会のあいさつ

堀会長

平素は同窓会、龍野北高等学校の発展に、ご指導ご協力を頂き厚く御礼申し上げます。

また、本日は平日のご多忙中のところ第1回特別基金管理委員会にご参集いただきましてありがとうございます。

今年度から同窓会事務局が新体制となり、これまでの各種課題を整理しながら進めさせていただいております。

第1回管理委員会につきましても特別基金設立からこれまでの経緯を確認してみますと取り崩し用途の拡大等現管理規定の改正をする必要性から委員会に諮り、次回委員会で最終確認後、総会に提案したいと考え、本日の委員会に提案しておりますのでよろしくお願い申し上げます。

### (2) 議案

#### ①今後の鶏鳳北同窓会活動について

堀会長

令和5年度より、同窓会本部事務局が新体制で組織され活動を始めました。

1. 最初の取組として龍野北高等学校記念館内の保管物・各種文書の整理・保存を保管現物・内容文書の確認等を実施しながら保管物・保管文書各一覧表作成と共に文書保存箱へ保管・保存に着手しました。
2. 同窓会役員組織につきましては、「2023年度から3年間の新役員に関するアンケート」で全ての役員各位宛確認し、現役員体制を組織しましたが、今後も継続していきたいと思っております。
3. 同窓会会員へ力になれる同窓会を組織する目標につきましては、現在活動中の各年次G・科別G・クラブ活動G・地域別G・職域G・業種Gの調査・確認等により、広報活動への機会を作っていくと考えています。
4. 同窓会本部事務局体制強化と各種企画事項に関する委員会等の

組織についても今後、強化・検討していきます。

5. 同窓会総会、役員会、委員会の会議等は、事務局の負担や郵送代、交通費などの経費縮減の為、Web会議（インターネットによる会議等）で出来ないか継続して検討します。

以上5項目の説明をし、ご理解を頂きました。

- ・会議終了後、龍北高記念館で館内の整理状況と保管物・保存文書の状況について説明し、計画通りの方向で理解と協力をお願いしました。
- ・現在活動中の各年次・科別・クラブ・地域別・職域別・業種別等の各グループ確認協力も依頼しました。
- ・大坪副会長から、関東支部の役員間の連絡方法にグループLINE、SNS、PCメール、電話連絡等の順番で郵電費の節約に工夫しておられる事例説明もあり、正副会長グループLINEを検討する旨了解を得ました。（本日出席の正副会長全員LINEの利用有）

- ②鶏鳳北同窓会特別基金管理規定の改正について 菅井副会長  
令和4年度総会開催時に提案のありました当同窓会特別基金管理規定の改正（案）について説明をし、同案の理解と承認を得ました。

- ③鶏鳳北同窓会館建設について 堀会長  
令和5年度より、同窓会本部事務局が新体制で組織され活動を始めました。鶏鳳北同窓会館建設につきましては、当事案の関連会議資料を確認しながら特別基金管理委員会、役員会の皆様と引き続き検討していきたいと考えております。

1. 令和元年5月11日（土）龍北高記念館で開催の副会長会議から  
各旧学校からの物品整理、事務局の整理と同窓会館建設に向けての取り組みを北高10周年（平成29年11月25日（土）記念式典）を迎えた今やらなければならない時期に来ている。

- ①同窓会館建設は、目度として龍北高創立20周年から30周年の節目に出来たらと思う。
- ②その為に各学校の歴史の保存をきめ細かく各学校、各学年毎の卒業生の思い出と同窓会開催の利便性と交流を活発化し得る基礎となるものを整備していかなければならない。

2. 同窓会会報「鶏鳳北」5号（令和2年2月発行）清水五男会長  
ご挨拶文中、記念館に同窓会事務局を置き週に1～2回程度事務局員に詰めていただき、事務、連絡をしていただく予定です。記念館は、龍野北高校の管理下にあり、使用に制限が多くあります。よって会長として同窓会館の建設を龍野北高校の創立30

周年にできればと強く希望しています。場所については、龍野北高校建設時に決定しており、龍野実業高校、新宮高校及び龍野北高校卒業生の力を合わせ、鶏鳳北同窓会館の建設に向けた気持ちの醸成を図り、実現に向けた活動をする必要があります。建設の際には全同窓生のご支援とご協力をお願いします。との記述があります。

以上が当同窓会館建設に係る直近の検討会議内容と同窓会員への元会長清水様からの広報です。

(参考資料)

特別会計（特別基金）の収入・支出状況について

1. 収入の状況

- 1) 平成23年7月29日（金）龍野北高記念館 第1回副会長会議 決定
- ・旧鶏北同窓会の基金63,462,723円は、鶏鳳北同窓会に参入する。
  - 但し、龍実跡地にモニュメント等を建設の際は、この基金より支出する。
  - ・同窓会館建設については、龍野北高10期生の卒業後、検討しては？
  - 委員会を創り、資料集めをはじめては？

(ご参考) 旧鶏北同窓会 平成4年2月1日 同窓会土地売却に伴う依頼文書  
土地売却合計金額62,736,000円（兵庫県竜野土木事務所32,944,000円  
兵庫県土地開発公社29,792,000円）

- 2) 平成23年8月24日13時～龍野北高記念館 副会長代表者会議（企画委員会）
- ・旧鳳同窓会より鶏鳳北同窓会に14,288,941円算入有り。

2. 支出の状況

1) 平成20年度 鶏北同窓会（龍実）決算報告書

項目	金額	備考
1. 龍実同窓会総会新聞広告代	427,035	朝日・読売。神戸新聞
2. 龍実回顧店パネル代	376,018	オータム・フェスティバル、写真展
3. 閉舎式記念品代	147,735	クリアファイル1,000枚
4. 閉舎式会場警備	38,535	警備員
5. 閉舎式感謝祭	950,000	
6. 龍野北高綴帳代	2,499,525	鶏北・鳳同窓会 半々で負担
7. 龍野北高落成広告代	100,000	
計	4,538,848	

2) 平成21年度 鶏北同窓会（龍実）決算報告書

項目	金額	備考
1. 開校記念式典記念品	527,625	クリアファイル・3Dクリスタル（鳳・鶏北同窓会）
2. フィットネス器具	1,501,250	（鳳・鶏北同窓会）
3. 龍実・新宮記念館パネル	127,000	歴代校長・閉校前校舎全景
4. 閉校記念記念植樹	1,855,300	記念碑・整地・植樹・来賓弁当代

5. 閉校記念誌・同窓会名簿	5,000,000	名簿2,120,000 記念誌2,880,000
計	9,011,175	

3) 龍野北高創立10周年記念事業 会計報告書

項目	金額	備考
1. 記念行事費	2,000,000	鶏鳳北同窓会積立金より
計	2,000,000	

4) 平成30年度 鶏鳳北同窓会決算報告書

項目	金額	備考
1・同窓会記念館整備費	30,000	4段シェルフ、配送費他
2. 同窓会記念館整備費	194,000	ガラスケース、鉄支柱他
3. 同窓会報発行費	300,000	同窓会報発行費補填 (②西兵庫信用金庫より)
計	524,000	

5) 令和元年度 鶏鳳北同窓会決算報告書

項目	金額	備考
1・同窓会記念館整備費	216,756	木製パネル収納棚、据付費等 (②西兵庫信用金庫)
2. 同窓会記念館整備費	652,550	卒業アルバム複写・データDVD等 (②西兵庫信用金庫)
3. 同窓会記念館整備費	476,850	卒業アルバム複写・データDVD等 (②西兵庫信用金庫)
4. 同窓会報発行費	1,892,335	会報発行費の補填 (⑧兵庫西農協通帳より)
計	3,238,335	(会報発行費3,582,335-一般会計1,690,000=)

6) 令和2年度 鶏鳳北同窓会決算報告書

項目	金額	備考
1・同窓会記念館整備費	198,770	高嶋先生講演会撮影・DVD作成卒業生思い出体験談DVD作成 (⑧兵庫西農協より) *前年度未払金
2. 同窓会記念館整備費	803,482	パソコン、ディスプレイ追加メモ리카ラーレーザー複合機無線LAN、USBケーブル、プログラム作成、DVD取込、搬入設置 筆まめ3.0 (⑧兵庫西農協より) *前年度未払金
計	1,002,252	

結果、1) + 2) + 3) + 4) + 5) + 6) = 15,775,762円を鶏鳳北同窓会設立準備前から支出して各種行事・記念館の整備が進めてられた。

今回、第1回特別基金管理委員会で当事案の関連会議資料を再確認しながら、出席の各委員と共に龍野北高等学校開校、創立10周年記念事業と当同窓会のこれまでの同基金管理状況を確認しました。

各委員からの主な意見

- ・鶏鳳北同窓会館建設は、龍野北高等学校記念碑「楷の樹」の場所が確保されているとすれば当事案について、今後龍野北高等学校1期生（現在当同窓会理事・評議員）の意見聴取が重要と思われる。

- ・会館建設するとすれば、後の維持管理はどのようにしていくのか、他校の既存会館は、県へ寄付受納しているケースが多いと聞いているが。いずれにしても本日出席役員は約15年後（龍野北高校創立30周年時）には在籍していない可能性が高い為、同校1期生の意見が重要と考える。
- ・龍野北高等学校の現状から判断すると同窓会館建設が必ずしも重要でないと考える。旧各同窓会（鷄北、鳳）の卒業生が同校へ来校する機会も少なく同窓会館の利用も多くは期待できないだろう。同校としては、県立高校の運営上必要とする運営資金が不足してきていることから、同窓会に援助を希望する事案が多くなってきている。

以上の内容の意見交換をしながら来年開催予定の役員会、総会に向けて引き続き同窓会本部事務局が中心となり調査・検討していくこととなった。